

研究紀要の掲載に寄せて

静岡県総合教育センターは、平成7年8月の開所以来、高度で専門的な研究に基づく質の高い研修の実現を目標に掲げ、学習と教育の中核的存在として、新しい時代の人づくりを目指しています。近年は、中央教育審議会から答申が矢継ぎ早に出され、教育公務員特例法の一部改正や新学習指導要領の告示が行われるなど、教育改革の文字どおり、学校教育は大きな変革の中にあります。その中でセンターは、学校が直面している教育課題の解決に向けた支援をミッションとして、研究と研修を軸にさまざまな取り組みを進めてきました。

このため、センターは、課を中心とした従来の研究も重視しつつ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習方法・指導方法の研究や教員育成指標に基づく新たな研修カリキュラムの開発など、所員の校種や専門教科を超えて、組織を横断して編成したプロジェクトチームによる研究にも精力的に取り組んでいます。これらの研究は、理論と研究協力校や研究協力員による実践を往還し、その成果を研修や施策に還元するというサイクルを強く意識しています。

本年度の研究紀要には、研究計画の最終年度にあたる3件、「新学習指導要領対応授業力向上研修の実施及び改善充実に向けた研究」「発達障害を対象とした通級指導教室担当者の指導力向上に役立つスタートブックの検討」「新学習指導要領に対応した特別支援学校における授業改善に関する研究」について成果をまとめて掲載しました。いずれも喫緊の教育課題に対応したもので、教職員をはじめ、学校教育に関わる皆様の要望や期待に多少なりともお応えできるものと考えます。センターは、今後も研究や研修等を通して、未来の創り手である子どもたちの成長を支えていきます。

なお、本紀要の内容は、センターホームページ上にも掲載しています。学校等が直面する課題の解決に向け、校内研修等で本センターの研究を役立てていただければ幸いです。

結びに、研究に際して、御協力をいただきました学校並びに関係機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成31年3月

静岡県総合教育センター
所長 塩崎 克幸